

# USER'S MANUAL

4ポート ブロードバンドルータ

## **BRL-04FA**

**PLANEX COMMUNICATIONS INC.**



# **USER'S MANUAL**

4ポート ブロードバンドルータ

**BRL-04FA**

# 本製品を安全にお使いいただくために

## 警告

本製品をご利用の際は、以下の注意点を必ずお守りください。これらの事項が守られない場合、感電、火災、故障などにより使用者の重傷または死亡につながるおそれがあります。

### 分解・改造・修理はダメ！

各部のネジを外したり、カバーを開けたりしないでください。また製品内部の部品を改造・交換しないでください。感電や火災につながるおそれがあります。



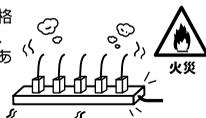
### 正しい電圧で使用して！

指定の電圧以外で使用すると誤動作や火災につながるおそれがあります。



### タコ足配線・無理な配線はダメ！

コンセントや電源タップの定格を超えて電気製品を接続すると、発熱し火災につながる危険があります。



### 液体・異物はいれないで！

製品内部に液体や異物が入ると、ショートして火災が発生したり、誤動作したりする可能性があります。万一異物や液体が入ってしまった場合は、電源コードをコンセントから外して弊社サポートセンターまでご連絡ください。



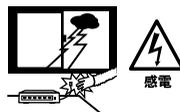
### 設置・保管場所をもう一度確認して！

以下の場所での本製品のご利用や保管は避けてください。これらの場所で設置・保管を行うと誤動作や感電、火災につながる危険があります。

- ・本製品が落下する可能性のある不安定な場所
- ・高温または多湿の場所（暖房器具の側も含む）
- ・急激に温度変化する可能性のある場所（結露のおそれがある所）
- ・静電気を帯びやすい場所（絨毯の上も含む）
- ・腐食性のガスが発生する場所

### 雷のときはさわらないで！

雷が発生している間は、製品各部およびケーブルにさわらないでください。感電するおそれがあります。



### 通気口をふさがないで！

内部に熱がこもり、誤動作や火災につながるおそれがあります。



### 電源コードをつけて移動しないで！

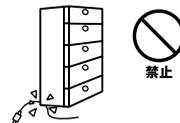
本製品を設置・移動する際は、必ず電源コードを前もって抜いておいてください。電源コードを入れたまま移動し、コードが傷つくと誤動作や火災につながるおそれがあります。



### 電源コードは傷つけないで！

火災・感電につながるおそれがありますので、電源やACアダプタのコードは絶対に加工したり傷つけたりしないでください。また以下の点を守ってコードを傷めないようにしてください。

- ◇コードの上に物を載せない
- ◇熱源の側にコードを置かない
- ◇コードをかじる癖のあるペットは隔離する（かじった部分からショートし発火する危険があります）



### ◎おねがい

本製品のお手入れ

- ・本製品のお手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。
- ・汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布を浸し、かたく絞って本製品を拭いてください。また最後に乾いた布で軽く拭いてください。
- ・台所用中性洗剤以外は使わないでください。シンナーやベンジン、ワックス、アルコールが入ったものは使用できません。



# このマニュアルの構成

---

本マニュアルは4ポート・ブロードバンドルーター bRoad Lanner BRL-04FAの概要および使用方法について説明します。本マニュアルの構成は以下のようになっています。

## 必ずお読みください

---

### 第1章 はじめに

本製品の概要と各部の名称について説明します。必ずお読みください。

## ご使用方法

---

### 第2章 ハードウェアの接続

本製品ハードウェアのADSL/ケーブルモデムおよびLANとの接続方法について説明します。必ずお読みください。

### 第3章 Webブラウザを使った設定方法（簡易インターネット接続設定）

本製品を使ってもっとも簡単にインターネットに接続する方法について説明します。

### 第4章 詳細設定

本製品のDHCPサーバ機能やローカルサーバ機能等のより詳しい機能の設定の方法について説明します。

### 第5章 その他の機能

本製品の通信状況等を参照する方法や、設定の初期化などについて説明します。

## 付録

---

### 付録A トラブルシューティング

「トラブルかな?」と思われる場合の対応方法について説明します。

### 付録B デフォルト設定

本製品の工場出荷時のデフォルト設定について説明します。

### 付録C 仕様

本製品の製品仕様です。

マニュアル内の表記について

本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。区別が必要な場合は製品型番で表記します。

記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

# 目次

---

本製品を安全にお使いいただくために	2
-------------------	---

## 第1章 はじめに

1.概要	7
2.特長	8
3.梱包内容の確認	8
4.各部の名称	9
5.対応機器	12

## 第2章 ハードウェアの接続

1.ADSL/ケーブルモデムとの接続 (WAN側ポート)	13
2.ネットワークとの接続 (LAN側ポート)	14
3.電源の接続	14
4.接続の確認	15
5.本製品のリセット手順	16

## 第3章 Webブラウザを使った設定方法 (簡易インターネット接続設定)

1.コンピュータの設定	17
2.WWWブラウザからのアクセス	23
3.簡単インターネット設定	24
4.通常のPPPoE接続	25
5.CATVインターネットサービス、その他のADSL接続サービス	31

## 第4章 詳細設定

1.ローカルネットワーク設定	35
2.アドバンスド設定	38
3.WANポート設定	40
4.PPPoEの診断	46
5.DHCPサーバ	47
6.ローカルサーバ	50
7.バーチャルコンピュータ	52
8.ルーティング	54
9.IPフィルタリング	55
10.管理者パスワード	57

---

## 第5章 その他の機能

1.ステータス表示	59
2.アクセス状況	61
3.設定の保存と再起動	62
4.設定情報の保存/読み込み	62
5.ファームウェアのアップグレード	64
6.デフォルト設定の読込	65
<b>付録A トラブルシューティング</b>	<b>67</b>
<b>付録B デフォルト設定</b>	<b>69</b>
<b>付録C 仕様</b>	<b>71</b>



# はじめに

## 1 概要

本製品は、ADSLおよびCATV(ケーブルTV)接続を使用したインターネット接続に対応したブロードバンドルータです。PPPoE接続にも対応しており、NTT東西のフレッツADSLでもご利用できます。NAPT( Network Address Port Translation : ネットワークアドレスポート変換)機能により、1つのIPアドレスを複数のコンピュータで共有し、同時にインターネットにアクセスすることが可能です。本製品はWEBブラウザにより、簡単にセットアップすることが可能です。

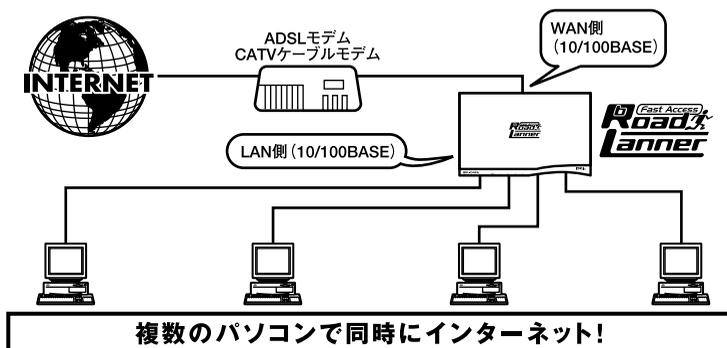


図1-1 bRoad Lanner接続図



### 注意

プロバイダによっては本製品のようなルータの使用や複数のコンピュータからのアクセスを制限している場合があります。プロバイダとのご契約内容についてご確認ください。

## 2 特長

NAPT機能により1つのIPアドレスを複数のコンピュータで共有可能  
WAN側に100M/10M自動認識に対応した RJ-45 STPポートを1ポート装備  
LAN側に100M/10M自動認識に対応した4ポートスイッチングハブを内蔵  
WAN側ポートはDHCPクライアントに対応  
LAN側ポートはDHCPサーバに対応(最大253クライアント)  
ローカルサーバ機能およびバーチャルコンピュータ機能により、ローカルネットワーク上のコンピュータにインターネットからアクセス可能  
フィルタ機能を装備、IPアドレス、ポート番号によるアクセス制限が可能  
WAN側の接続方法として通常の接続のほかにPPPoE接続に対応  
マルチNAT対応  
ARMプロセッサによる高速ルーティング  
WEBブラウザから設定可能

## 3 梱包内容の確認

パッケージに以下の付属品が含まれていることを確認してください。

bRoad Lanner( BRL-04FA )本体  
ACアダプタ  
ストレートタイプLANケーブル(1m) 1本  
ショートケーブル 1本  
ユーザーズマニュアル  
簡単設定マニュアル  
保証書(ユーザーズマニュアルの最後にあります)

不足品がある場合は、販売店または弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

## 4 各部の名称

1

はじめに

### 本体前面

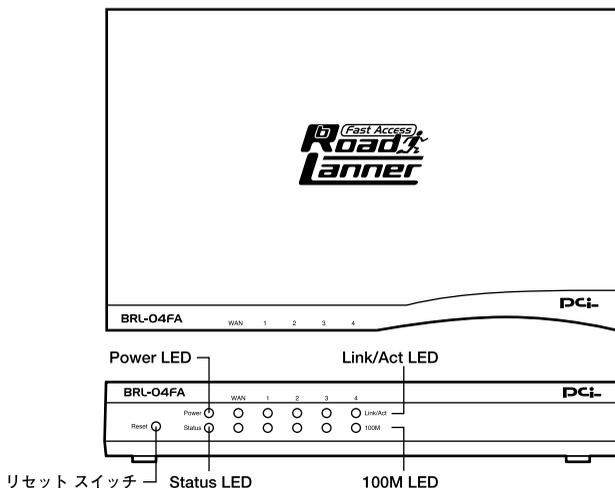


図1-2 BRL-04FA本体前面

#### 「Power LED」

本製品に電源が供給されている場合に点灯します。

#### 「Status LED」

本製品がデータの送受信中に点滅します。また、電源投入時の起動時などの自己診断中にも点滅します。

#### 「Link/Act LED」

ポートのリンクが確立しているときに点灯します。また、ポートがデータの送受信中は点滅します。

#### 「100M LED」

ポートのリンクが100Mで確立すると、点灯します。

#### 「リセットスイッチ」

本製品を再起動する場合に使用します。

## 本体背面

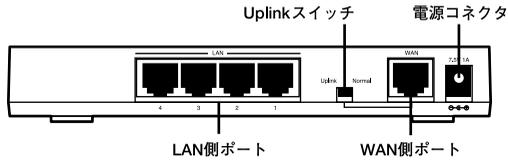


図1-3 BRL-04FA本体背面

## 「LAN側ポート」

本製品をLANと接続するためのRJ-45 LANポートです。

## 「WAN側ポート」

本製品をADSLモデムまたはケーブルモデムと接続するためのRJ-45 LANポートです。

## 「電源コネクタ」

付属のACアダプタを接続するための電源コネクタです。

## 「Uplink スイッチ」

WAN側ポートをUplinkポートに切り替える時に使用します。

## 本体裏面

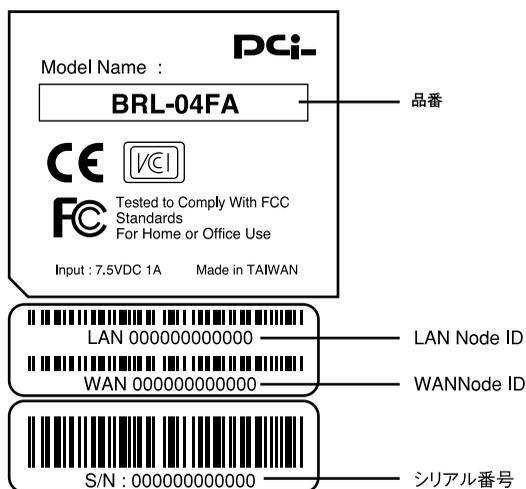


図1-4 BRL-04FA本体裏面

## 「品番」

本製品の製品型番です。

## 「シリアル番号」

本製品のシリアルナンバーです。製品外箱に記載されているものと同じ番号です。ユーザ登録時に必要となります。また、製品故障時などにサポートを受ける場合にも必要となります。

## 「WAN Node ID」

本製品のWAN側ポートのMACアドレス（物理アドレス）です。プロバイダによってはADSL/ケーブルモデムに接続する機器のMACアドレスの申請が必要な場合があります。その場合はこのMACアドレスをプロバイダに申請してください。

## 「LAN Node ID」

本製品のLAN側ポートのMACアドレス（物理アドレス）です。

## 5 対応機器

### コンピュータ機器

本製品は、以下のいずれかのコンピュータに対応しています。

- ・ Windows 95/98/Me/NT/2000/XPを搭載し、RJ-45 LANポートを装備したコンピュータ
- ・ TCP/IPが利用可能なOS( Mac OS、各種UNIX等 )を搭載し、RJ-45 LANポートを装備したコンピュータ

### ネットワーク機器

本製品では、以下のネットワーク機器が必要となります。

- ・ LANケーブル

### ADSL/ケーブルモデム

本製品は、以下のいずれかのADSL/ケーブルモデムに対応しています。

- ・ RJ-45 LANポートを装備した外付ADSLモデム
- ・ RJ-45 LANポートを装備した外付ケーブルモデム

# ハードウェアの接続

## 本

章では、本製品とADSL/ケーブルモデム、コンピュータとの接続手順について説明します。

## 1 ADSL/ケーブルモデムとの接続 (WAN側ポート)

1. ADSL/ケーブルモデムの電源を切ってください。
2. 本製品背面のUplinkスイッチを「Uplink」に切り替えてください。
3. 本製品付属のLAN用ストレートケーブルもしくは、市販のストレートタイプのLANケーブルで、本製品背面のWAN側ポートとADSL/ケーブルモデムのRJ-45 LANポートを接続してください。

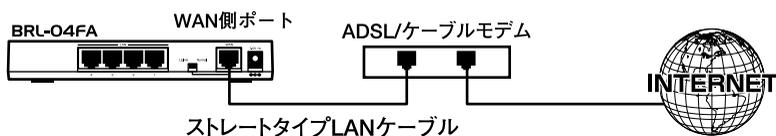


図2-1 ADSL/ケーブルモデムとの接続



### 注意

ADSL/ケーブルモデムの種類によっては、本製品と接続する際にストレートタイプのLANケーブルでなく、クロスタイプのLANケーブルを必要とするものもあります。ADSL/ケーブルモデム側のRJ-45ポートがMDI-Xの場合は、Uplinkスイッチを「Uplink」に切り替えてください。MDIの場合は「Normal」に切り替えてください。詳細については、お手持ちのADSL/ケーブルモデムのマニュアルを参照してください。

## 2 ネットワークとの接続（LAN側ポート）

1. ストレートタイプのLANケーブルの一端を本製品のいずれかのLAN側ポートに接続してください。
2. LANケーブルのもう一端をコンピュータのRJ-45 LANポートに接続してください。



図2-2 ネットワークとの接続

## 3 電源の接続

1. 付属のACアダプタを本製品の電源コネクタに接続してください。
2. ACアダプタをAC100Vコンセントに接続してください。コンセントに直接、ACアダプタを接続できない場合は付属のショートケーブルをご使用ください。
3. ADSL/ケーブルモデムの電源を入れてください。
4. コンピュータの電源を入れてください。

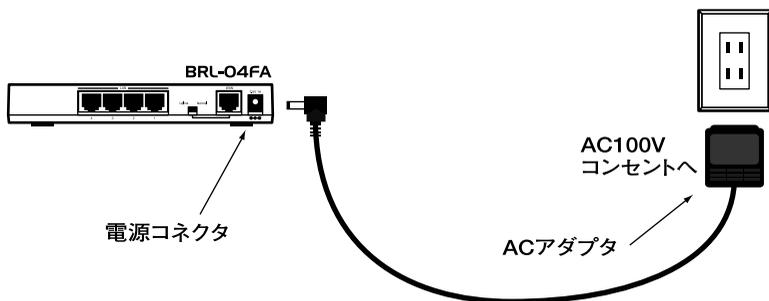


図2-4 電源の接続

**注意**

ACアダプタは必ず付属のものを使用してください。付属以外のACアダプタの使用は、製品の故障、誤動作等の原因となります。付属以外のACアダプタを使用した場合の故障は保証の範囲外となります。

**4****接続の確認**

これまでの接続を行い本製品の電源を入れると本製品のPower LEDとWAN LEDおよびLAN LEDが点灯します。

これらのLEDが点灯しない場合は以下の点についてご確認ください。

**POWER LED**

本製品付属のACアダプタを使用していますか？

ACアダプタが本製品背面の電源コネクタにしっかりと接続されていますか？

ACアダプタはAC100Vコンセントにしっかりと接続されていますか？

**WAN LED**

LANケーブルの両端はそれぞれ、本製品背面のWANポートおよびADSL/ケーブルモデムのRJ-45ポートにしっかりと接続されていますか？

ADSL/ケーブルモデムの電源は入っていますか？

Uplinkスイッチの設定は合っていますか？

## LAN LED

LANケーブルの両端はそれぞれ、本製品背面のLANポートおよびコンピュータのRJ-45ポートにしっかりと接続されていますか？

コンピュータの電源は入っていますか？

LANケーブルの種類（ストレートまたはクロス）は合っていますか？

## 5 本製品のリセット手順

本製品背面にはリセットスイッチが装備されています。何らかの理由で本製品のリセットを行いたい場合は、以下の手順でリセットを行ってください。

1. 本製品に電源が入っていることを確認し、リセットスイッチを押してください。
2. 本製品がリセットされ、再起動します。



### 注意

リセットをしても、本製品に保存されている設定は初期化されません。

# Webブラウザを使った設定方法 (簡易インターネット接続設定)

**本**

章では本製品の簡易インターネット接続設定手順について説明します。簡易インターネット接続設定では、必要最小限の設定のみで、本製品を経由したインターネットへのアクセスを行えるようにします。

簡易インターネット接続設定を開始する前に、第2章「ハードウェアの接続」を参照して本製品とADSL/ケーブルモデム、コンピュータの接続を済ませておいてください。本製品のより詳細な設定を行う場合は、第4章「アドバンスド設定」を参照してください。

## 1 コンピュータの設定

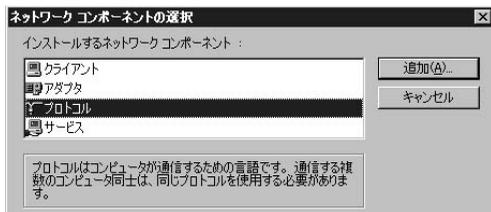
Windows 95/98/Me

1. コンピュータにLANアダプタがインストールされ、正常に認識されていることを確認してください。LANアダプタがインストールされていない場合は、LANアダプタのインストールを行ってください。

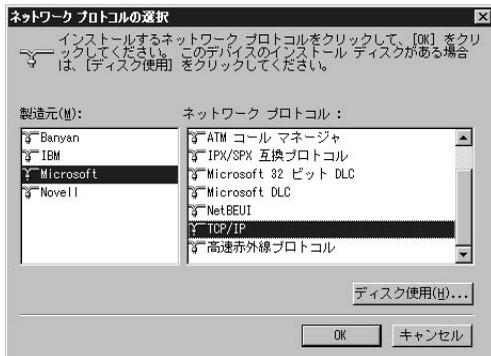
2. コンピュータにTCP/IPプロトコルがインストールされていることを確認します。「スタート」メニューから「設定」「コントロールパネル」「ネットワーク」と選択してください。「現在のネットワークコンポーネント」の欄に「TCP/IP」が表示されているか確認してください。インストールされている場合は手順5に進んでください。



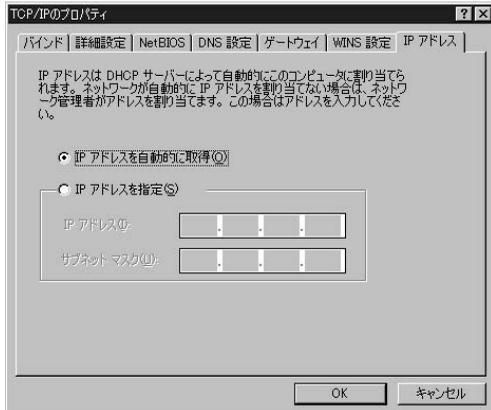
3. インストールされていない場合は「追加」ボタンをクリックし、「インストールするネットワークコンポーネント」から「プロトコル」を選択して「追加」ボタンをクリックしてください。



4. ネットワークプロトコルの選択で「製造元」に「Microsoft」を選択し、「ネットワークプロトコル」には「TCP/IP」を選択して「OK」ボタンをクリックしてください。ネットワークのプロパティの画面に戻ります。



5. 「TCP/IP」を選択し「プロパティ」ボタンをクリックしてください。「TCP/IPのプロパティ」画面が表示されるので、「IPアドレス」タブをクリックしてください。画面内の「IPアドレスを自動的に取得」オプションを選択し、コンピュータを再起動してください。



## Windows XP

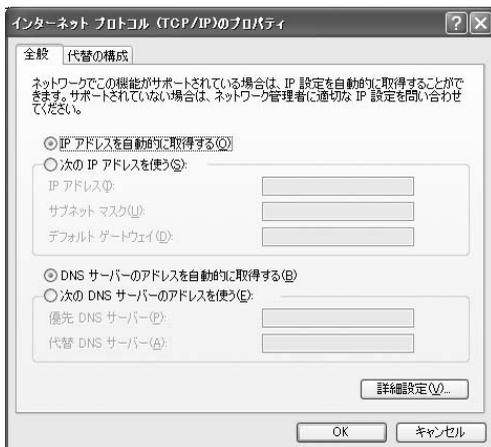
1. コンピュータにLANアダプタがインストールされ、正常に認識されていることを確認してください。LANアダプタがインストールされていない場合は、LANアダプタのインストールを行ってください。
2. コンピュータでTCP/IPプロトコルが有効になっていることを確認します。「スタート」メニューを開き、「マイコンピュータ」を選択してください。表示された「マイコンピュータ」ウィンドウの左側の「その他」の中にある「マイネットワーク」を右クリックし、メニューから「プロパティ」を選択してください。「ネットワーク接続」ウィンドウが表示されます。



3. 「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」を選択してください。「ローカルエリア接続のプロパティ」ウィンドウが表示されます。「この接続は次の項目を使用します」の欄の「インターネットプロトコル(TCP/IP)」の左側のチェックボックスがチェックされているか確認してください。チェックされていない場合はチェックしてください。



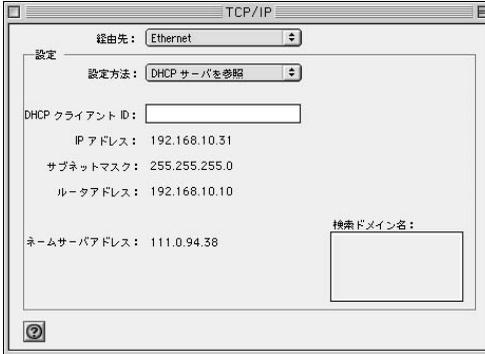
4. 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し「プロパティ」ボタンをクリックしてください。「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」画面が表示されるので、「全般」タブをクリックしてください。画面内の「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバのアドレスを自動的に取得する」のオプションを選択し、「OK」ボタンをクリックしてください。



5. 「ローカルエリア接続のプロパティ」ウィンドウに戻ったら、「閉じる」ボタンをクリックしてください。

## Macintosh

1. アップルメニューから「コントロールパネル」「TCP/IP」と選択してください。
2. TCP/IPの設定ウィンドウの「設定方法」を「DHCPサーバを参照」に設定してください。



3. TCP/IPの設定ウィンドウを閉じて、Macintoshを再起動してください。

### その他のコンピュータまたはOS

ご利用のコンピュータまたはOSのマニュアル及びドキュメントを参照にして、ネットワークプロトコルをTCP/IPに設定してください。IPアドレスはDHCPサーバから取得する設定にしてください。

## 2 WWWブラウザからのアクセス

1. コンピュータが起動したら、WWWブラウザを起動してください。
2. WWWブラウザのURLを入力する欄（Netscapeでは「場所」、Internet Explorerでは「アドレス」）に本製品のデフォルトIPアドレス「192.168.1.1」を入力し、Enterキーを押してください。
3. 本製品にログインするための認証ダイアログボックスが表示されます。パスワードにデフォルトのパスワード「password」を入力して「OK」ボタンをクリックしてください。



4. 本製品のメイン・セットアップメニューが表示されます。



## 3



## 注意

WEB設定画面が表示されない場合は以下の項目を確認してください。

コンピュータのネットワークアダプタは正常に動作していますか？  
コンピュータまたはネットワークアダプタのマニュアルを参照してネットワーク設定を確認してください。

コンピュータのTCP/IPの設定が間違っている可能性があります。IPを自動取得（DHCPを使用）する設定にしてください。

使用しているWEBブラウザで、プロキシが設定されていると設定画面が表示されません。プロキシを使用しない設定にしてください。Internet Explorerでは「表示（ツール）」、「インターネットオプション」、「接続」、Netscapeでは「編集」、「設定」、「詳細」にプロキシの設定項目があります。

お使いのコンピュータがIPアドレスを取得できていない可能性があります。

WindowsではDOSプロンプトから、ipconfig コマンドを実行するとIPアドレスが表示されます。Macintoshではアップルメニューから「コントロールパネル」、「TCP/IP」を開いて、IPアドレスの欄にIPが割り振られているか確認してください。コンピュータがIPアドレスを取得できていない場合は、コンピュータを再起動してください。（デフォルト設定時は 192.168.1.xxx がIPアドレスとして割り当てられます。）

## 3 簡単インターネット設定

1. WWWブラウザで設定画面を開きます。
2. [メインメニュー] またはWWWブラウザの画面左側から、[簡単インターネット接続設定]の文字をクリックします。  
メインメニューに[簡単インターネット接続設定]ページが表示されます。



### 3. ご利用のインターネット接続サービスのタイプを選択します。

メインメニューに2つの選択肢が表示されます。ご利用のインターネット接続サービスを選択してください。

#### 通常のPPPoE接続

NTT東日本/NTT西日本の「フレッツ・ADSL」や東京めたりっく通信の「G-One (Single)」サービス、名古屋めたりっく通信の「Home」サービス等のPPPoEプロトコルを使用したインターネット接続サービスをご利用の場合はこちらを選択し、「4.通常のPPPoE接続」に進んでください。

#### CATVインターネットサービス、その他のADSL接続サービス

CATVインターネット接続サービスや、「Yahoo!BB」等のPPPoEプロトコルを使用しないADSL接続サービスをご利用の場合はこちらを選択してください。また、IPアドレスの取得にDHCPを使用するサービスの場合は、こちらを選択し、「5.CATVインターネットサービス・その他のADSL接続サービス」に進んでください。

## 4 通常のPPPoE接続

[ 通常のPPPoE接続 ] では、PPPoE 方式を採用したADSL インターネットサービスをご利用の場合の設定を行います。



#### 注意

PPPoE接続ではないADSL/CATV インターネット接続サービスの場合は、[ CATVインターネットサービス、その他のADSL接続サービス ]から設定を行ってください。

1. メインメニューの[ 簡単インターネット接続設定 ]ページから [ 通常の PPPoE 接続 ] を選択します。 [ 通常の PPPoE 接続 ] ページが表示されます。表示される設定項目に必要な情報を入力します。



### ログインユーザ名

プロバイダから指定された PPPoE 接続ユーザ名を、正確に入力してください。「フレッツ・ADSL」の場合は“ @ ”(アットマーク)以下も入力します。(工場出荷時の状態では空欄に設定されています。)

例：pci011@planexbrl.ne.jp



### 注意

最大64文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。PPPoE接続ユーザ名はメールアドレスなどと異なる場合があります。

## ログインパスワード

プロバイダから指定されたPPPoE 接続パスワードを、正確に入力してください。セキュリティのため、この欄に文字を入力しても“\*”(アスタリスク)表示されます。(工場出荷時の状態では空欄に設定されています。)

例：rY0Co%Mtu



### 注意

最大32文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。PPPoE接続パスワードはメールパスワードなどと異なる場合があります。

## サービス名

プロバイダから指定されたPPPoE サービス名を、正確に入力してください。特に指定されていない場合は入力する必要はありません。(工場出荷時の状態では空欄に設定されています。)

例：PPPServ



### 注意

最大32文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。

## サービスオンデマンド

パソコン上でWWW ブラウザを起動した場合など、LAN 側のパソコンからのインターネット接続要求に応じて自動的にインターネット接続したい場合は、「有効」に設定してください。定額のインターネット接続サービスの場合は「有効」に設定することをお勧めします。(工場出荷時の状態では「有効」に設定されています。)



### 注意

従量制の場合などで「無効」に設定した場合は、[アドバンスド設定] - [PPPoE接続の診断] ページで手動接続しなければなりません。

## 自動切断

PPPoE でインターネットに接続中、通信が無い状態が続いた場合に自動的にPPPoE 接続を切断するまでの時間を分単位で指定します。“0 ~ 120”の範囲で指定できます。自動切断したくない場合は、この欄に“0”を入力してください。(工場出荷時の状態では「120」に設定されています。)

例：3

### キーブアライブ

キーブアライブを「有効」に設定すると、PPPoE接続がなんらかの原因で切断された場合に自動で再接続を行います。

LAN側でサーバを公開している場合などでは、「有効」に設定することをお勧めします。（工事出荷時の状態では「無効」に設定されています。）

### IPアドレスの自動取得

IPアドレスがプロバイダから自動的に割り当てられる場合は「有効」、IPアドレスが固定で割り当てられている場合は「無効」を選択します。「無効」の場合は以下の「ルータIPアドレス」も設定してください。

（工場出荷時の状態では「有効」に設定されています。）

### ルータIPアドレス

IPアドレスが固定で割り当てられている場合に、プロバイダから指定されたIPアドレスを入力します。（工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。）

例：153.16.10.40

### DNSサーバアドレスの自動取得

DNSサーバのIPアドレスをプロバイダから自動的に取得する場合は「有効」、DNSサーバのIPアドレスが固定で指定されている場合は「無効」を選択します。「無効」の場合は以下の「プライマリDNSサーバ」及び「セカンダリDNSサーバ」も設定してください。（工場出荷時の状態では「有効」に設定されています。）

### プライマリDNSサーバアドレス

プライマリDNSサーバのIPアドレスがプロバイダから固定で指定されている場合は、プロバイダから指定されたプライマリDNSサーバのIPアドレスを入力します。（工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。）

例：172.16.1.10

### セカンダリDNSサーバアドレス

セカンダリDNSサーバのIPアドレスがプロバイダから固定で指定されている場合は、プロバイダから指定されたプライマリDNSサーバのIPアドレスを入力します。プロバイダからセカンダリDNSサーバのIPアドレスが指定されていない場合は、入力する必要はありません。（工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。）

例：172.16.1.11

### 接続確認間隔(10～300秒)

PPPoEの設定を確認するためのパケットの送信間隔を設定します。送信したパケットに対応があるかどうかで接続の確認を行います。（工事出荷時の状態では「60」に設定されています。）

### 接続確認リトライ回数(1～20回)

接続確認パケットに 응답がなかった場合のリトライの回数を設定します。ここで設定した回数・連続して 응답がなかった場合は、PPPoEの接続になんらかの障害が発生したと判断し、PPPoEの切断処理を行います。（工事出荷時の状態では「6」に設定されています。）



#### 注意

接続確認間隔および、接続確認リトライ回数を小さく設定すると、不要な切断処理が行われる場合があります。通常は工事出荷時の設定のままでご使用ください。

### MSS(Maximum Segment Size)

MSS(Max Segment Size)値を変更します。通常は工場出荷時の設定(1412)を変更する必要はありません。不用意に変更すると通信ができなくなったり、特定のサイトやアプリケーションが使用できなくなったり、パフォーマンスが著しく落ちますので注意してください。

MSSの値に40を加えた値がMTUの値になります。



#### 注意

MSS 値はインターネットスピードのパフォーマンスに影響を与えます。アプリケーションの都合でMSS 値を変更する場合は、そのアプリケーションの許容範囲の最大値を入力してください。「フレッツ・ADSL」の場合は、必ず「1414」以下の値でご使用ください。

これらの設定について、もう一度入力内容を確認し、正しければ[適用]ボタンを押してください。

「設定を保存して再起動します。」メッセージが表示されますので、[はい]ボタンを押してください。[はい]ボタンを押すと、変更した設定内容が保存され本製品が再起動を開始します。

再起動後にインターネットに接続できます。



### 注意

インターネットに正常にアクセス出来ない場合は、付録A「トラブルシューティング」を参照してください。PPPoE接続が正常に行われない場合は、「第4章 4.PPPoEの診断」を参照してください。

## CATVインターネットサービス その他のADSL接続サービス

[ CATVインターネットサービス、その他のADSL接続サービス ]では、通常のADSL/CATV インターネットサービスをご利用の場合の設定を行います。



### 注意

PPPoE 接続ADSL インターネット接続サービスの場合は、[ 通常のPPPoE接続 ] から設定を行ってください。

メインメニューの[ 簡単インターネット接続設定 ]ページから[ CATVインターネットサービス、その他のADSL接続サービス ]を選択します。[ CATVインターネットサービス、その他のADSL接続サービス ]ページが表示されます。表示される設定項目に必要な情報を入力します。



### IP設定の自動取得(DHCP取得)

プロバイダからIP アドレスが自動的に割り当てられる場合は「する」、IP アドレスが固定で割り当てられる場合は「しない」を選択します。「しない」の場合は以下の項目に関しても設定してください。(工場出荷時の状態では「する」に設定されています。)

### WAN 側IPアドレス

IPアドレスが固定で割り当てられる場合は、プロバイダから指定されたIPアドレスを入力してください。（工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。）

例：153.16.10.40

### WAN 側サブネットマスク

IPアドレスが固定で割り当てられる場合は、プロバイダから指定されたサブネットマスクを入力してください。（工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。）

例：255.255.255.240

### WAN 側デフォルトゲートウェイ

IPアドレスが固定で割り当てられる場合は、プロバイダから指定されたデフォルトゲートウェイを入力してください。（工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。）

例：153.16.10.36

### プライマリDNSサーバ

プライマリDNSサーバのIPアドレスがプロバイダから固定で指定されている場合は、プロバイダから指定されたプライマリDNSサーバのIPアドレスを入力します。（工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。）

例：172.16.1.10

### セカンダリDNSサーバ

セカンダリDNSサーバのIPアドレスがプロバイダから固定で指定されている場合は、プロバイダから指定されたプライマリDNSサーバのIPアドレスを入力します。プロバイダからセカンダリDNSサーバのIPアドレスが指定されていない場合は、入力する必要はありません。（工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。）

例：172.16.1.11

## ドメイン名

特に必要が無い限り設定しません。

ご利用のインターネット接続サービスでドメイン名の設定が必要な場合や、LAN上でドメイン名を使用している場合は、ここにドメイン名を入力します。この設定を行うと本製品のDHCPサーバ機能によってIPアドレスが自動設定される際に、ドメイン名もパソコンに設定されます。

プロバイダからドメイン名を指定されている場合は、指定されたドメイン名を入力してください。（工場出荷時の状態では空欄に設定されています。）

例：PLANEX.com

## ホスト名

特に必要が無い限り変更する必要はありませんが、ご利用のインターネット接続サービスによっては、ホスト名の設定が必要になります。この場合はプロバイダから指定されたホスト名を入力してください。（工場出荷時の状態では「broadlanner」に設定されています。）

例：Mymachine

入力内容を確認し、正しければ[適用]ボタンを押してください。

「設定を保存して再起動します。」メッセージが表示されますので、[はい]ボタンを押してください。[はい]ボタンを押すと、変更した設定内容が保存され本製品が再起動を開始します。



# 詳細設定

こ

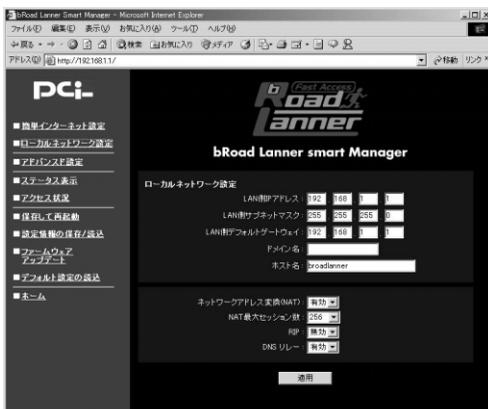
ここでは本製品の詳細な設定方法について説明します。

4

詳細設定

## 1 ローカルネットワーク設定

WWWブラウザの画面左側から、[ ローカルネットワーク設定 ]の文字をクリックします。メインメニューにローカルネットワーク設定画面が表示されます。各設定項目に必要な情報を入力します。



### LAN側IPアドレス

本製品LAN 側ポートに設定するIP アドレスを入力します。ここに入力するアドレスがLAN 側からみた本製品のIP アドレスになります。(工場出荷時の状態では「192.168.1.1」に設定されています。)

例：192.168.1.1

### LAN側サブネットマスク

本製品LAN 側ポートに接続されたネットワークのサブネットマスクを入力します。(工場出荷時の状態では「255.255.255.0」に設定されています。)

例：255.255.255.0

### LAN側デフォルトゲートウェイ

本製品のLAN 側ポートに接続されたネットワークのデフォルトゲートウェイ(デフォルトルータ)のIP アドレスを入力します。通常は本製品を經由してインターネットに接続する形になりますので、上記[ LAN 側ポートIP アドレス ]と同じ値を入力します。(工場出荷時の状態では「192.168.1.1」に設定されています。)

例：192.168.1.1

### ドメイン名

特に必要が無い限り設定しません。

ご利用のインターネット接続サービスでドメイン名の設定が必要な場合や、LAN 上でドメイン名を使用している場合は、ここにドメイン名を入力します。この設定を行うと本製品のDHCPサーバ機能によってIP アドレスが自動設定される際に、ドメイン名もパソコンに設定されます。

プロバイダからドメイン名を指定されている場合は、指定されたドメイン名を入力してください。(工場出荷時の状態では空欄に設定されています。)

例：PLANEX

### ホスト名

特に必要が無い限り変更する必要はありませんが、ご利用のインターネット接続サービスによっては、ホスト名の設定が必要になります。この場合はプロバイダから指定されたホスト名を入力してください。(工場出荷時の状態では「broadlanner」に設定されています。)

例：Mymachine

### ネットワークアドレス変換(NAT)

NAT(Network Address Translator)機能を有効にする場合は[有効]に、NATを無効にして本製品をローカルルータとして使用する場合には[無効]に設定します。

(工場出荷時の状態では「有効」に設定されています。)

### NAT最大セッション数

本製品のNAT機能で同時に処理できる最大セッション数を「256」または「2000」から選択します。セッションとはLAN側のコンピュータとWAN側(インターネット)のコンピュータとの個々の通信のことです。同時に使用するアプリケーションの数やLAN側のコンピュータの台数が増えるほど同時に必要なセッション数は増加します。コンピュータの使用法や使用する

アプリケーションの種類にもよりますが、LAN側のコンピュータが数台程度であれば「256」セッションでのご使用をお勧めします。LAN側のコンピュータが十数台以上になる場合や、同時に多数のセッションを使用するアプリケーションを使用する場合は「2000」に設定してください。(工場出荷時の状態では「256」に設定されています。)



### 注意

セッション数を「2000」に設定すると、本製品のLAN-WAN間のスループット性能が低下します。スループット性能を重視される場合は「256」セッションに設定してご使用ください。

### RIP

RIPを有効にすると、隣接ルータと経路情報を交換しあい、自分自身のルーティングテーブルを自動的に構成するようになります。RIPを利用する場合には[有効]に、利用しない場合には[無効]に設定します。

(工場出荷時の状態では「無効」に設定されています。)

### DNSリレー

「有効」に設定するとDNSリレー機能が有効になります。DNSリレー機能とはLAN側のコンピュータからのDNSサーバへのリクエストを本製品がコンピュータに替わって行う機能です。通常は「有効」に設定して使用することをお勧めします。「有効」に設定した場合はコンピュータのDNSアドレスには本製品のLAN側ポートのIPアドレスを設定してください。本製品のDHCPサーバ機能を使用している場合は本製品のLAN側ポートのIPアドレスが自動的にDNSアドレスに割り当てられます。「無効」に設定した場合はコンピュータのDNSアドレスにはプロバイダから指定されたDNSサーバのアドレスを設定してください。



### 注意

DNSリレーが「無効」の状態 で接続先のプロバイダを切り替えた場合は、その都度コンピュータのDNSアドレスの設定を変更する必要があります。

入力内容を確認し、正しければ[適用]ボタンを押してください。

「設定を保存して再起動します。」メッセージが表示されますので、[はい]ボタンを押してください。[はい]ボタンを押すと、変更した設定内容が保存され本製品が再起動を開始します。

## 2 アドバンスド設定

[メインメニュー] またはWWWブラウザの画面左側から、[アドバンスド設定]の文字をクリックします。画面左側に[アドバンスド設定]の各項目が表示されます。



### WAN ポート設定

この項目では本製品のWAN側のネットワーク設定及びインターネットへの接続設定を行います。

### PPPoEの診断

この項目ではPPPoEによるインターネットへの手動接続及び手動切断が行われます。インターネットに自動的に接続されない場合などにここで診断できます。

### DHCPサーバ

ここではLAN側のDHCPサーバ設定を行います。

### ローカルサーバ

ここではLAN側にある特定のサーバをWAN側からアクセスする為の設定を行います。

## バーチャルコンピュータ

ここではLAN側にある特定のサーバをWAN側からアクセスする為の設定を行います。

## ルーティング

ここではルーティングテーブルの設定と参照を行います。

## IPフィルタリング

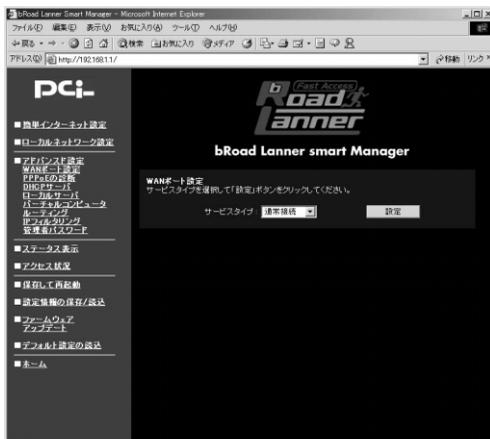
ここではIPフィルタリングの設定が行えます。IPアドレスによるアクセス制限を設定できます。

## 管理者パスワード

ここでは本製品の設定変更を行える管理者用のパスワードの設定を行います。

## 3 WANポート設定

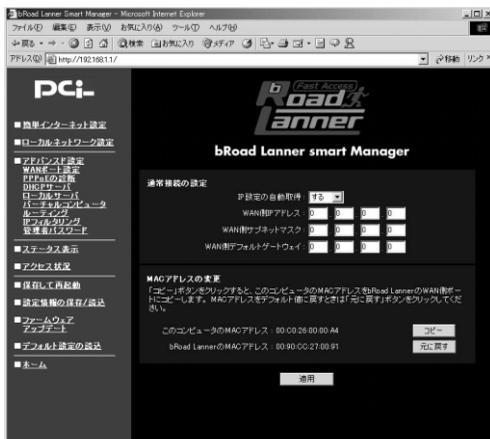
WWWブラウザの画面左側から、[ WANポート設定 ]の文字をクリックします。メインメニューにWANポート設定のページが表示されます。ご利用のインターネット接続サービスのタイプを選択して「設定」を押してください。各サービスタイプの設定ページが表示されます。



## 4 詳細設定

### 通常接続の設定

本製品を通常のルーターとしてご利用の場合の設定です。WAN側ポートのIPアドレスの取得にDHCPを使用するサービスの場合にも、こちらから設定を行ってください。



### IP設定の自動取得

DHCPサーバからIP アドレスが自動的に割り当てられる場合は「する」、IP アドレスが固定で割り当てる場合は「しない」を選択します。「しない」の場合は以下の項目に関しても設定してください。(工場出荷時の状態では「する」に設定されています。)

### WAN側IPアドレス

IPアドレスが固定で割り当てられる場合は、プロバイダから指定されたIP アドレスを入力してください。(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

例：172.16.1.55

### WAN側サブネットマスク

IPアドレスが固定で割り当てられる場合は、プロバイダから指定されたサブネットマスクを入力してください。(工場出荷時の状態では「255.255.255.0」に設定されています。)

例：255.255.255.0

### WAN側デフォルトゲートウェイ

IP アドレスが固定で割り当てられる場合は、プロバイダから指定されたデフォルトゲートウェイを入力してください。(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

例：172.16.1.1

### MACアドレスの変更

本製品のWAN側のMACアドレスに、現在設定を行うためにアクセスしているコンピュータのMACアドレスをコピーする事が出来ます。

これにより、ADSL/ケーブルモデムに接続する機器のMACアドレスの登録が必要なプロバイダの場合に、すでに登録しているコンピュータのMACアドレスをコピーすれば登録の変更をする事無くご利用いただけます。

「コピー」ボタンを押すと、現在設定を行うためにアクセスしているパソコンのMACアドレスがWAN側ポートにコピーされます。「元に戻す」ボタンを押すとWAN側ポートのMACアドレスが本製品のMACアドレスに戻ります。

## PPPoE接続の設定

NTT東日本/NTT西日本の「フレッツ・ADSL」や東京めたりっく通信の「G-One (Single)」サービス、名古屋めたりっく通信の「Home」サービス等のPPPoEプロトコルを使用したインターネット接続サービスをご利用の場合の設定です。



### ログインユーザ名

プロバイダから指定されたPPPoE接続ユーザ名を、正確に入力してください。「フレッツ・ADSL」の場合は“@”(アットマーク)以下も入力します。(工場出荷時の状態では空欄に設定されています。)

例：pci0011@planexbrl.ne.jp



### 注意

最大64文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。PPPoE接続ユーザ名はメールアドレス名などと異なる場合があります。

## ログインパスワード

プロバイダから指定されたPPPoE 接続パスワードを、正確に入力してください。セキュリティのため、この欄に文字を入力しても“\*”(アスタリスク)表示されます。(工場出荷時の状態では空欄に設定されています。)

例：rY0Co%Mtu



### 注意

最大32文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。PPPoE接続パスワードはメールパスワードなどと異なる場合があります。

## サービス名

プロバイダから指定されたPPPoE サービス名を、正確に入力してください。特に指定されていない場合は入力する必要はありません。(工場出荷時の状態では空欄に設定されています。)

例：PPPServ



### 注意

最大32文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。

## サービスオンデマンド

パソコン上でWWW ブラウザを起動した場合など、LAN 側のパソコンからのインターネット接続要求に応じて自動的にインターネット接続したい場合は、「有効」に設定してください。定額のインターネット接続サービスの場合は「有効」に設定することをお勧めします。(工場出荷時の状態では「有効」に設定されています。)



### 注意

従量制の場合などで「無効」に設定した場合は、[アドバンスド設定] - [PPPoE接続の診断] ページで手動接続しなければなりません。

### 自動切断

PPPoE でインターネットに接続中、通信が無い状態が続いた場合に自動的に PPPoE 接続を切断するまでの時間を分単位で指定します。。"0 ~ 120"の範囲で指定できます。自動切断したくない場合は、この欄に"0"を入力してください。(工場出荷時の状態では「120」に設定されています。)

例 : 3

### キーブアライブ

キーブアライブを「有効」に設定すると、PPPoE接続がなんらかの原因で切断された場合に自動で再接続を行います。

LAN側でサーバを公開している場合などでは、「有効」に設定することをお勧めします。(工事出荷時の状態では「無効」に設定されています。)

### IPアドレスの自動取得

IP アドレスがプロバイダから自動的に割り当てられる場合は「有効」、IP アドレスが固定で割り当てられている場合は「無効」を選択します。「無効」の場合は以下の「ルータIPアドレス」も設定してください。(工場出荷時の状態では「有効」に設定されています。)

### 固定IPアドレス

IP アドレスが固定で割り当てられている場合に、プロバイダから指定されたIP アドレスを入力します。(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

例 : 172.16.1.50

### DNSサーバアドレスの自動取得

DNSサーバのIPアドレスをプロバイダから自動的に取得する場合は「有効」、DNSサーバのIP アドレスが固定で指定されている場合は「無効」を選択します。「無効」の場合は以下の「プライマリDNSサーバ」及び「セカンダリDNSサーバ」も設定してください。(工場出荷時の状態では「有効」に設定されています。)

### プライマリDNSサーバアドレス

プライマリDNSサーバのIPアドレスがプロバイダから固定で指定されている場合は、プロバイダから指定されたプライマリDNSサーバのIPアドレスを入力します。(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

例 : 172.16.1.10

### セカンダリDNSサーバアドレス

セカンダリDNSサーバのIPアドレスがプロバイダから固定で指定されている場合は、プロバイダから指定されたプライマリDNSサーバのIPアドレスを入力します。プロバイダからセカンダリDNSサーバのIPアドレスが指定されていない場合は、入力する必要はありません。(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

例：172.16.1.11

### 接続確認間隔(10～300秒)

PPPoEの設定を確認するためのパケットの送信間隔を設定します。

送信したパケットに対応があるかどうかで接続の確認を行います。(工事出荷時の状態では「60」に設定されています。)

### 接続確認リトライ回数(1～20回)

接続確認パケットに回答がなかった場合のリトライの回数を設定します。ここで設定した回数・連続して回答がなかった場合は、PPPoEの接続になんらかの障害が発生したと判断し、PPPoEの切断処理を行います。(工事出荷時の状態では「6」に設定されています。)



#### 注意

接続確認間隔および、接続確認リトライ回数を小さく設定すると、不要な切断処理が行われる場合があります。通常は工事出荷時の設定のままでご使用ください。

### MSS(Maximum Segment Size)

MSS(Max Segment Size)値を変更します。通常は工場出荷時の設定(1412)を変更する必要はありません。不用意に変更すると通信ができなくなったり、特定のサイトやアプリケーションが使用できなくなったり、パフォーマンスが著しく落ちますので注意してください。

MSSの値に40を加えた値がMTUの値になります。



#### 注意

MSS 値はインターネットスピードのパフォーマンスに影響を与えます。アプリケーションの都合でMSS 値を変更する場合は、そのアプリケーションの許容範囲の最大値を入力してください。「フレッツ・ADSL」の場合は、必ず「1414」以下の値でご使用ください。

## 4 PPPoEの診断

WWWブラウザの画面左側から、[ PPPoEの診断 ]の文字をクリックします。メインメニューに[ PPPoEの診断 ]のページが表示されます。



### [ 接続 ]

[ 接続 ] ボタンを押すと、現在の設定を読み込んでPPPoE 接続を開始します。接続ログの最後の表示が

Connection OK!

と、なっている場合は正常にPPPoE接続に成功した事を表します。

Connection Failed!

と、なっている場合はPPPoE接続に失敗した事を表します。接続及び設定の確認してください。

### [ 切断 ]

[ 切断 ] ボタンを押すとPPPoE接続を切断し、切断ログを表示します。

## 5 DHCPサーバ

WWWブラウザの画面左側から、[ DHCPサーバ ]の文字をクリックします。メインメニューに[ DHCPサーバ ]の設定ページが表示されます。



4

詳細設定

### DHCP サーバ

「有効/無効」から選択してください。この機能を有効にするとLAN 側ポートに接続されたネットワーク上のパソコンに対して、本製品が自動的にIP アドレスを割り当てます。有効にする場合は以下の項目も設定してください。(工場出荷時の状態では「有効」に設定されています。)

### プライマリDNS サーバ

プロバイダから指定されたDNS サーバのIP アドレスを入力してください。(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

例：172.16.1.10

## セカンダリDNS サーバ

プロバイダからセカンダリ(バックアップ)DNS サーバのIP アドレスも指定されている場合は入力してください。(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

例：172.16.1.11

## WINS サーバアドレス

LAN 側ポートに接続されたネットワーク上にWINS サーバがある場合はそのIP アドレスを入力します。(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

例：172.16.1.20

## IP 割り当て範囲

本製品のDHCP サーバ機能により、LAN 側ポートに接続されたネットワーク上のパソコンに対して自動的に割り当てられるIP アドレスの範囲がリスト表示されています。この範囲を変更したい場合は[変更]ボタンを、削除したい場合は[削除]ボタンを押してください。(工場出荷時の状態では「192.168.1.21」～「192.168.1.120」までのIP アドレス割り当て範囲が設定されており、最高100台のパソコンにIPアドレスを自動的に設定することができます。)

IP アドレスの範囲を追加したい場合は、[範囲の追加]ボタンを押すと、[IP 割り当て範囲]ページが表示されます。追加したいIP アドレス範囲の最初のホストアドレスを[開始アドレス]欄に、最後のホストアドレスを[終了アドレス]欄に入力して[適用]ボタンを押してください。入力した内容が反映されたページが表示されます。

[IP割り当て範囲]は最大で4つの範囲を指定できます。

### 固定IPの追加

本製品のDHCP サーバ機能を利用し、なおかつ特定のパソコン(サーバなど)のみ任意のIP アドレスで固定させたい場合に利用します。既に固定IP 割り当てを設定している場合はリスト表示されます。各リストを変更したい場合は[ 変更 ]ボタンを、削除したい場合は[ 削除 ]ボタンを押してください。固定IP 割り当てを追加したい場合は、[ 固定IPの追加 ]ボタンを押すと[ 固定IP 割り当て ]ページが表示されます。固定設定したいIP アドレスのホストアドレスを[ IP アドレス ]欄に、そのIP アドレスを利用するコンピュータのMAC アドレスを[ MAC アドレス ]欄に入力して、[ 適用 ]ボタンを押してください。入力した内容が反映されたページが表示されます。この設定を行うと、DHCP サーバ機能を利用しているにもかかわらず、特定のパソコンだけ常に同じIP アドレスが割り当てられます。

入力内容を確認し、正しければ[ 適用 ]ボタンを押してください。「設定を保存して再起動します。」メッセージが表示されますので、[ はい ]ボタンを押してください。[ はい ]ボタンを押すと、変更した設定内容が保存され本製品が再起動を開始します。

固定IPでは最大で16個のクライアントを登録できます。

## 6 ローカルサーバ

ローカルサーバ機能とは、LAN 側ポートに接続されたネットワーク上の任意のコンピュータを、インターネット上から参照可能とする機能です。バーチャルコンピュータ機能が1 台のパソコンにすべての通信を転送するのに対して、ローカルサーバ機能では、TCP/UDP ポート番号とIP アドレスの組み合わせを設定することができます

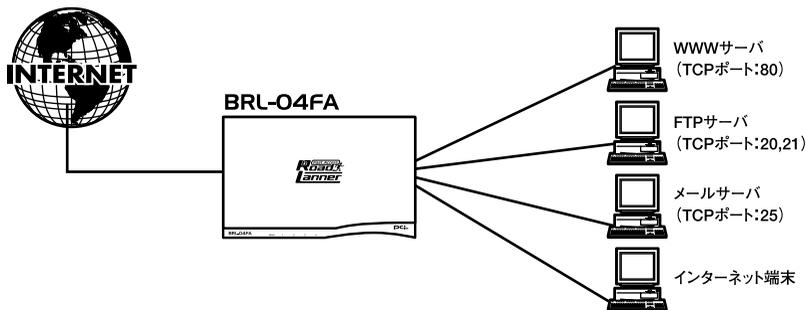


図4-1 ローカルサーバ

WWW ブラウザの画面左側から、[ ローカルサーバ ]の文字をクリックします。メインメニューに[ ローカルサーバリスト ]のページが表示されます。



既にローカルサーバ設定がされている場合は、[ ローカルサーバリスト ]に各エントリが表示されます。エントリを変更したい場合は[ 変更 ]ボタンを、エントリを削除したい場合は[ 削除 ]ボタンを押してください。  
TCP ポートを使ったローカルサーバリストを追加したい場合は[ TCPエントリの追加 ]ボタンを、UDP ポートを使ったローカルサーバリストを追加したい場合は[ UDPエントリの追加 ]ボタンを押してください。[ ローカルサーバ ]ページが表示されます。

### 外部ポート

インターネット上に公開したいポート番号を入力します。

例：WWW サーバの場合は、TCP の80 番ポート

### ローカルIP アドレス

上記ポートの転送先パソコンのIP アドレスを入力します。

例：192.168.1.25

### 内部ポート

転送先パソコンでの受信ポート番号を入力します。通常は外部ポートと同じ番号で構いません。

例：WWW サーバの場合は、TCPの80 番ポート

入力内容を確認し、正しければ[ 適用 ]ボタンを押してください。[ ローカルサーバリスト ]にエントリが追加されます。

[ ローカルサーバリスト ]は最大16エントリまで登録できます。

## 7 バーチャルコンピュータ

バーチャルコンピュータ機能とは、LAN側の特定のコンピュータをインターネット上からアクセス可能にする機能です。インターネットからの、本製品のWAN側ポートに割り当てられたIPアドレスへのパケットはすべてバーチャルコンピュータに転送されます。通常は、プライベートLAN上のいずれか1台のコンピュータをバーチャルコンピュータとして登録することが可能です。PPPoE複数IPアドレスをご利用の場合には、2台以上のプライベートLAN上のコンピュータをバーチャルコンピュータに登録する事が出来ます。

4  
詳細設定

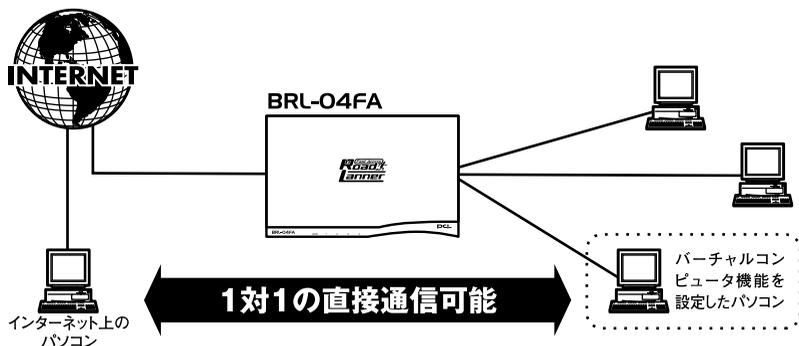


図4-2 バーチャルコンピュータ

WWWブラウザの画面左側から、[バーチャルコンピュータ]の文字をクリックします。

メインメニューに[バーチャルコンピュータ]のページが表示されます。



## バーチャルコンピュータ

「はい/いいえ」から選択してください。「はい」にした場合は以下の[ IP アドレス ]欄も入力してください。(工場出荷時の状態では「いいえ」に設定されています。)

### グローバルIPアドレス

WAN側のグローバルIPアドレスを登録します。1台目のバーチャルコンピュータのグローバルIPアドレスは、本製品のWAN側のIPアドレスになります。PPPoE複数IPアドレスをご利用の場合は2台目以降にはプロバイダーから割り当てられているグローバルIPアドレスを入力してください。

### ローカルIPアドレス

プライベートLAN側にあるバーチャルコンピュータ機能を利用したいコンピュータのIP アドレスを入力してください。PPPoE複数IPアドレスをご利用の場合は割り当てたグローバルIPアドレス分(最大16台)のコンピュータを登録できます。(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)



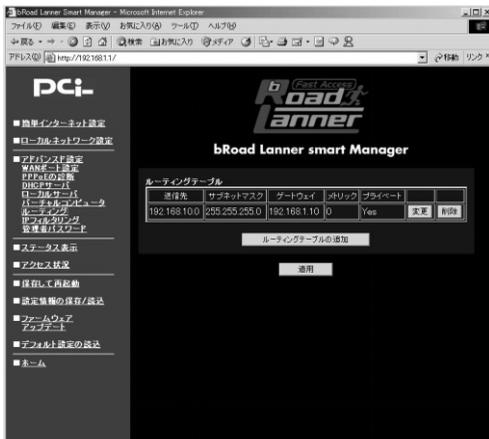
### 注意

バーチャルコンピュータ機能を利用するパソコンのIP アドレスは固定しておかなければなりません。

## 8 ルーティング

本製品は内部のルーティングテーブルに、スタティック(静的な)ルーティング情報を追加することができます。

WWWブラウザの画面左側から、[ルーティング]の文字をクリックします。メインメニューに[ルーティングテーブル]のページが表示されます。



既にスタティックルーティング設定がされている場合は、[ルーティングテーブル]に各エントリが表示されます。エントリを変更したい場合は[変更]ボタンを、エントリを削除したい場合は[削除]ボタンを押してください。新たにルーティングテーブルを追加したい場合は、[ルーティングテーブルの追加]ボタンを押してください。[ルーティングテーブルの追加/変更]ページが表示されます。

### 送信先

送信先のIPアドレスを入力してください。

例：192.168.10.0

### サブネットマスク

送信先のサブネットマスクを入力してください。

例：255.255.255.0

### ゲートウェイ

送信先アドレスへのゲートウェイのIP アドレスを入力してください。

例：192.168.1.10

### メトリック

メトリックには1から16までの値を入力可能です。送信先に対して複数の経路がある場合は、より低いメトリック値を持つ経路が優先されます。

例：1

### プライベート

[ はい/いいえ ]から選択します。定義したルーティング情報をブロードキャストさせたくない場合は「はい」を選択してください。

入力内容を確認し、正しければ[ 適用 ]ボタンを押してください。

[ ルーティングテーブル ]にエントリが追加されます。

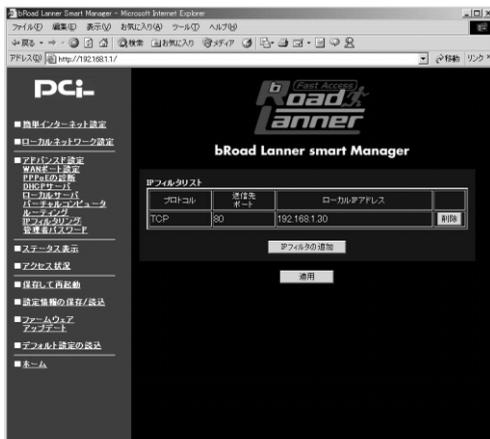
[ ルーティングテーブル ]は最大で5エントリまで登録できます。

## 9 IPフィルタリング

IPフィルタリング機能では、プライベートLAN 上のユーザのWEBの参照やE-mail などのインターネットサービスの使用制限を行うことが可能です。また、特定のユーザのみこれらのサービスを使用できないように設定することも可能です。

デフォルトでは、IP フィルタリング機能は無効に設定されています。

WWWブラウザの画面左側から、[ IPフィルタリング ]の文字をクリックします。  
メインメニューに[ IPフィルタリスト ]のページが表示されます。



既にIPフィルタリング設定がされている場合は、[ IPフィルタリスト ]の各エントリが表示されます。

エントリを変更したい場合は[ 変更 ]ボタンを、エントリを削除したい場合は[ 削除 ]ボタンを押してください。

新たにIP フィルタリング情報の定義を行いたい場合は、[ IP フィルタリストの追加 ]の文字を押してください。[ IPフィルタリストの追加/変更 ]ページが表示されます。

## プロトコル

フィルタリングするパケットのプロトコルを「TCP/UDP 」から選択してください。

## 送信先ポート

フィルタリングをするパケットのポート番号を入力してください。

## ローカルIP アドレス

上記ポート番号で指定したパケットフィルタリングを、特定のパソコンに対してのみ適用したい場合は、そのパソコンのIP アドレスを入力してください。「0.0.0.0」を入力するとすべてのパソコンに適用されます。(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

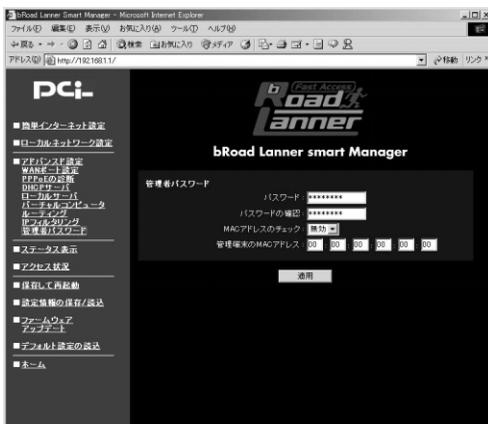
入力内容を確認し、正しければ[適用]ボタンを押してください。「設定を保存して再起動します。」メッセージが表示されますので、[はい]ボタンを押してください。[はい]ボタンを押すと、変更した設定内容が保存され本製品が再起動を開始します。

[IPフィルタリスト]は最大で32エントリまで登録できます。

## 10 管理者パスワード

本製品ではセキュリティ確保のため、パスワードのほかにMACアドレスによる管理用端末の指定が可能となっております。MACアドレスによる管理用端末のチェックを有効にすると、設定したMAC アドレス以外の端末からの本製品のWEB およびtelnet 設定画面へのアクセスができなくなり、本製品の設定画面への不正ログイン/設定変更を防ぐことができます。以下の方法で設定を行ってください。

WWWブラウザの画面左側から、[管理者パスワード]の文字をクリックします。メインメニューから[管理者パスワード]のページが表示されます。



## 管理者パスワード

WWW ブラウザやTELNET で本製品の設定画面を開く際に必要になる管理者パスワードを設定します。セキュリティのため、この欄に文字を入力しても“\*”(アスタリスク)表示されます。(工場出荷時の状態では「password」に設定されています。)

例：PassWord



### 注意

最大16文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。

4

詳細設定

## パスワードの確認

誤入力防止のため、上記[管理者パスワード]で入力した文字を再入力してください。セキュリティのため、この欄に文字を入力しても“\*”(アスタリスク)表示されます。(工場出荷時の状態では「password」に設定されています。)

例：PassWord



### 注意

最大16文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。

## MACアドレスのチェック

「有効/無効」から選択してください。「有効」にする場合は以下の[設定端末のMAC アドレス]欄にも入力してください。(工場出荷時の状態では「無効」に設定されています。)

## 管理端末のMACアドレス

本製品を設定できる端末(コンピュータ)のMACアドレスを入力します。(工場出荷時の状態では「00:00:00:00:00:00」に設定されています。)



### 注意

パスワード設定とMAC アドレスチェックは[適用]ボタンを押した直後から有効になります。MACアドレスの入力間違えの無いように気をつけてください。

# その他の機能

## 1 ステータス表示

ステータス表示では、本製品のWAN側ポートおよびLAN側ポートの状況を参照することができます。WWWブラウザの画面左側のメニューから、「ステータス表示」の文字をクリックします。メインメニューに「ステータス表示」のページが表示されます。ステータス表示は、10秒ごとに更新されます。



### WAN側ポート接続方式

WAN側ポートの接続方式を表示します。

### WAN側ポート接続ステータス

WAN側ポートの接続状況を表示します。

#### WAN側ポートIPアドレス

WAN側ポートのIPアドレスを表示します。

#### WAN側サブネットマスク

WAN側ポートのサブネットマスクを表示します。

#### WAN側デフォルトゲートウェイ

WAN側ポートのデフォルトゲートウェイを表示します。

#### LAN側ポートIPアドレス

LAN側ポートのIPアドレスを表示します。

#### LAN側サブネットマスク

LAN側ポートのサブネットマスクを表示します。

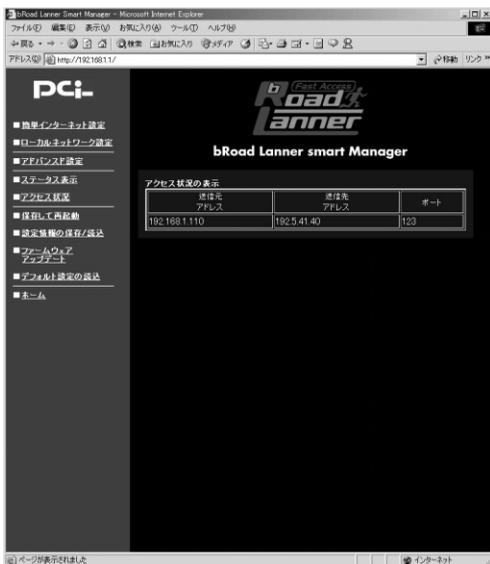
#### DHCPサーバ

DHCPサーバの状況を表示します。

## 2 アクセス状況

アクセス状況ではLAN側のコンピュータのインターネットへのアクセス状況を参照する事が出来ます。

WWW ブラウザの画面左側から、[ アクセス状況 ]の文字をクリックします。メインメニューに[ アクセス状況 ]のページが表示されます。



### 送信元アドレス

現在インターネットにアクセスしているコンピュータのIP アドレスです。

### 送信先アドレス

送信元アドレスのコンピュータがアクセスしているインターネットサーバのIPアドレスです。

### ポート番号

送信元アドレスのコンピュータとインターネットサーバの間の通信で使われているIPポート番号をです。

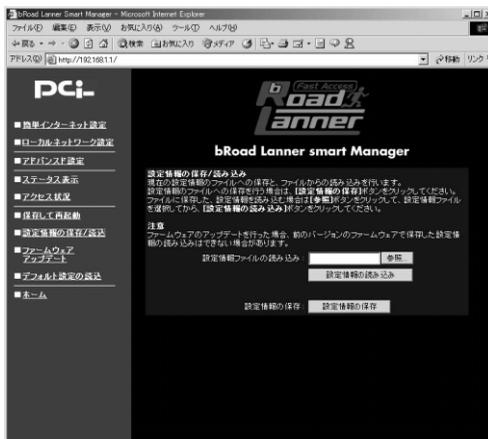
## 3 設定の保存と再起動

設定の変更は、設定を保存して本製品を再起動するまで有効にはなりません。本製品の設定を変更した後は、必ず「保存して再起動」を実行してください。画面左側の「保存して再起動」をクリックして表示される画面で、「保存して再起動」ボタンをクリックすると設定が保存され本製品が再起動します。保存を中止したい場合は、「中止」をクリックしてください。

## 4 設定情報の保存/読み込み

ここでは、本製品の設定情報を保存したり、保存した設定情報を読み込ませる事ができます。

Webブラウザの画面左側から、[ 設定情報の保存/読み込み ]の文字をクリックします。メインメニューに[ 設定情報の保存/読み込み ]ページが表示されます。



### 設定情報ファイルの読み込み

ボックスに読み込ませたい設定ファイルをフルパスで指定します。また、[ 参照 ]ボタンを押すとファイルの選択画面になります。読み込ませたいファイルを選択して[ 開く ]ボタンを押してください。ファイルがフルパスで入力されます。

ファイルを指定したら、[ 設定情報の読み込み ]ボタンを押してください。設定ファイルが読み込まれ、再起動します。

5

その他の機能



## 注意

設定情報を読み込ませると自動的に再起動します。LAN側IPアドレスやインターネット設定もすべて読み込まれた設定ファイルの情報に変わります。アクセスするコンピュータの設定を読み込ませた設定情報に合わせてください。

本製品のファームウェアのアップデートを行った場合、前のバージョンのファームウェアで保存した設定情報の読み込みはできない場合があります。

設定情報を読み込ませると自動的に再起動します。LAN側IPアドレスやインターネット設定もすべて読み込まれた設定ファイルの情報に変わります。アクセスするコンピュータの設定を読み込ませた設定情報に合わせてください。

本製品のファームウェアのアップデートを行った場合、前のバージョンのファームウェアで保存した設定情報の読み込みはできない場合があります。

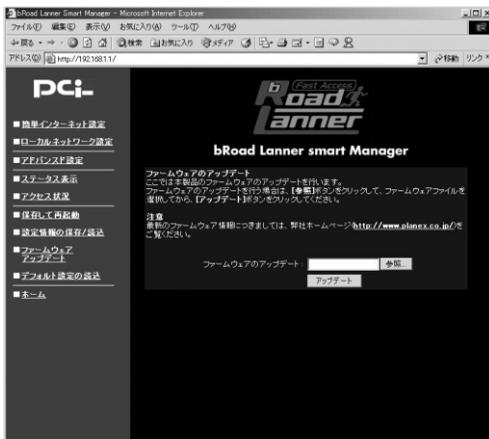
### 設定情報の保存

[ 設定情報の保存 ] ボタンを押してください。ファイルのダウンロードウィンドウが表示されますので、この「ファイルをディスクに保存する」を選択して、[ OK ] ボタンを押してください。「保存する場所」と「ファイル名」を指定するウィンドウが開きますので、それぞれ指定して、[ 保存 ] ボタンを押してください。設定情報ファイルが保存されます。

## 5 ファームウェアのアップデート

ここでは本製品のファームウェアのアップデートを行えます。

Webブラウザの画面左側から、[ ファームウェアのアップデート ]の文字をクリックします。メインメニューに[ ファームウェアのアップデート ]ページが表示されます。



### ファームウェアのアップデート

ボックスに読み込ませたいファームウェアをフルパスで指定します。また、[ 参照 ] ボタンを押すとファイルの選択画面になります。ファームウェアを選択して[ 開く ] ボタンを押してください。ファームウェアがフルパスで入力されます。

ファームウェアを指定したら、[ アップデート ] ボタンを押してください。ファームウェアが読み込まれ、再起動します。



### 注意

最新のファームウェア情報につきましては、弊社ホームページ (<http://www.planex.co.jp/>) をご覧ください。

## 6 デフォルト設定の読み込み

「デフォルト設定の読み込み」で、本製品の設定を工場出荷時のデフォルト設定に戻すことが可能です。「デフォルト設定の読み込み」をクリックして表示される画面の「デフォルト設定の読み込み」ボタンをクリックするとデフォルト設定が読み込まれます。デフォルト設定を有効にするには、「保存して再起動」を実行してください。



5

その他の機能



# トラブルシューティング

## POWER LEDが点灯しない

- 本製品付属のACアダプタを使用していますか？
- ACアダプタが本製品背面の電源コネクタにしっかりと接続されていますか？
- ACアダプタはAC100Vコンセントにしっかりと接続されていますか？

## WAN LEDが点灯しない

- LANケーブルの両端はそれぞれ、本製品背面のWANポートおよびADSL/ケーブルモデムのRJ-45ポートにしっかりと接続されていますか？
- ADSL/ケーブルモデムの電源は入っていますか？
- LANケーブルの種類（ストレートまたはクロス）は合っていますか？

## LAN LEDが点灯しない

- LANケーブルの両端はそれぞれ、本製品背面のLANポートおよびハブ（コンピュータ）のRJ-45ポートにしっかりと接続されていますか？
- ハブ（コンピュータ）の電源は入っていますか？
- LANケーブルの種類（ストレートまたはクロス）は合っていますか？

## WEB設定画面が表示されない

- コンピュータのネットワークアダプタは正常に動作していますか？コンピュータまたはネットワークアダプタのマニュアルを参照してネットワーク設定を確認してください。
- コンピュータのTCP/IPの設定が間違っている可能性があります。IPを自動取得（DHCPを使用）する設定にしてください。
- 使用しているWEBブラウザで、プロキシが設定されていると設定画面が表示されません。プロキシを使用しない設定にしてください。Internet Explorerでは「表示（ツール）」、「インターネットオプション」、「接続」、Netscapeでは「編集」、「設定」、「詳細」にプロキシの設定項目があります。

コンピュータがIPアドレスを取得できていない可能性があります。WindowsではDOSプロンプトから、ipconfig コマンドを実行するとIPアドレスが表示されています。Macintoshではアップルメニューから「コントロールパネル」「TCP/IP」を開いて、IPアドレスの欄にIPが割り振られてるか確認してください。コンピュータがIPアドレスを取得できていない場合は、コンピュータを再起動してください。（デフォルト設定時は192.168.1.xxx がIPアドレスとして割り当てられます。）

### インターネットにアクセスできない

WAN側のIP設定が間違っている可能性があります。

プロバイダから受け取っているIP設定の資料をよく確認し、「第3章」または「4-3 WANポート設定」をやり直してください。

DNSサーバの設定が間違っている可能性があります。

DHCPサーバ機能を利用されている場合はプロバイダから受け取っているIP設定の資料をよく確認し、「第3章」または「4-5 DHCPサーバ」をやり直してください。

DHCPサーバ機能を利用していない場合はプロバイダから受け取っているIP設定の資料をよく確認し、コンピュータのDNSサーバ設定を確認してください。

IPフィルタが設定されていませんか？

IPフィルタの設定を確認してください。

### MACアドレスがわからない

本製品のMACアドレスは本体底面のシールに印刷されています。Node ID： 後の12桁の文字列が本製品のMACアドレスです。

# デフォルト設定

**本**

製品の工場出荷時のデフォルト設定は以下のようになっています。デフォルト設定の読み込みを行った場合も、以下の設定が読み込まれます。

項目	設定内容	
LAN側	IPアドレス	192.168.1.1
	サブネットマスク	255.255.255.0
	デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1
DHCPサーバ	DHCPサーバ	有効
	DHCP IP割当て範囲	192.168.1.21~120
	DHCP固定IP割当て	なし
	プライマリDNS	0.0.0.0
	セカンダリDNS	0.0.0.0
	WINSサーバ	0.0.0.0
WAN側	IPアドレス	0.0.0.0
	サブネットマスク	255.255.255.0
	デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
	サービスタイプ	通常接続
	DHCPクライアント	有効
パスワード	password	
管理端末のチェック	無効	
管理端末のMACアドレス	00:00:00:00:00:00	
ドメイン名	未設定	
ホスト名	broadlanner	
NAT	有効	
RIP	無効	
ローカルサーバ	なし	
バーチャルコンピュータ	なし	
ルーティングテーブル	なし	
IPフィルタリング	なし	



# 仕様

< 準拠する標準 >

IEEE802.3 10BASE-T、IEEE802.3u 100BASE-TX

< ポート >

LAN側 : : 10BASE-T/100BASE-TX RJ-45 スイッチ × 4ポート

WAN側 : 10BASE-T /100BASE-TX RJ-45 × 1ポート

< LED >

Power、Status、Link/Act、100M

< 入力電源 >

DC 7.5V、1A

< 消費電力 >

最大5.475W

< 外形寸法 ( W × D × H ) >

175 × 110 × 27 mm

< 重量 ( 本体のみ ) >

245 g

< 環境 >

動作温度 0 ~ 40

動作湿度 35 ~ 85%

< EMI >

FCC Class B , VCCI Class B , CE Mark











## ユーザー登録について

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。弊社では製品をお買い上げいただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。ユーザー登録を行っていただいたお客様には新製品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン情報等さまざまな情報を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザーサポートをお受けになるにはお客様のユーザー登録が必要となります。ぜひユーザー登録を行ってくださいますようお願いいたします。

ユーザー登録は下記弊社インターネットホームページ上で受け付けております。ユーザー登録を行って戴いたお客様の中から毎月抽選でプレゼントを差し上げております。

<http://www.planex.co.jp/user/user.htm>

## 質問表

技術的なご質問は、この2ページをコピーして必要事項をご記入の上、下記FAX番号へお送りください。

ブラネックスコミュニケーションズ テクニカルサポート担当 行

FAX : 03-5614-1018

送信日 : \_\_\_\_\_

会社名			
部署名			
名前			
電 話		F A X	
E-MAIL			

製品名 Product name	4ポート ブロードバンドルータ
型番 Product No.	<b>BRL-04FA</b>
製造番号 Serial No.	

### ご使用のコンピュータについて

メーカー	
型番	

### ソフトウェア

ネットワーク OS	バージョン
OS	バージョン



## 保証規定

ブラネックスコミュニケーションズ(株)は、本製品についてご購入日より本保証書に記載の保証期間を設けております。

本製品付属の取扱説明書などに従った正常な使用状態の下で、万一保証期間内に故障・不具合が発生した場合、本保証規定に基づき無償修理・交換対応を行います。

ただし、次のような場合には保証期間内であっても有償修理となります。

1. 本保証書がない場合。
2. 本保証書に、ご購入日・お名前・ご購入代理店印の記入がない場合、または字句が改ざんされている場合。
3. 取扱上の誤り、または不当な改造や修理を原因とする故障及び損傷。
4. ご購入後の輸送・移動・落下による故障及び損傷。
5. 火災、地震、落雷、風水害、ガス害、塩害、異常電圧およびその他の天変地異など、外部に原因がある故障および損傷。
6. 他の機器との接続に起因する故障・損傷。

### 初期不良交換

保証期間発生日より1ヶ月以内の故障に関しては、初期不良交換サービスの対象となります。

お客様より初期不良である旨申告していただき、弊社がその申告現象を確認した場合に限り、初期不良品として新品と交換いたします。

ただし、検査の結果、動作環境や相性を起因とする不具合であった場合には、初期不良交換サービス対象とはなりません。また、当サービスをご利用頂くには、お買い上げ商品の全ての付属品が揃っていることが条件となります。

#### 初期不良・修理の手順(センドバック方式)

弊社は、センドバック方式による初期不良・修理対応を行っております。

1. 本製品に故障・不具合が発生した場合、下記サポートセンターまでご連絡ください。受付番号を発行いたします。

ブラネックスコミュニケーションズ(株)

サポートセンター フリーダイヤル 0120-415977

2. 受付番号を明記の上、本製品及び保証書を弊社リペアセンターまでお送りください。

(誠に勝手ながら、修理品発送の際の送料はお客様のご負担にてお願いいたします。)

3. 当該初期不良・修理品の到着後、初期不良の場合は交換品、修理の場合は修理完了品をお送りいたします。

### 免責事項

- ・お客様及び第三者の故意または過失と認められる本製品の故障・不具合の発生につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- ・本製品の使用及び不具合の発生によって、二次的に発生した損害(事業の中断及び事業利益の損失、記憶装置の内容の変化、消失等)につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- ・本製品に装着することにより他の機器に生じた故障・損傷について、弊社では本製品以外についての修理費等は一切保証致しません。

本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

# 保証書

保証期間 Warranty	西暦            年            月            日より <b>1</b> 年間		
製品名 Product Name	4ポート ブロードバンドルータ		
型番 Product No.	<b>BRL-04FA</b>	製造番号 Serial No.	

個人使用      法人使用 (チェックしてください。) 個人でご使用の場合には、個人名、および住所以降の欄にのみご記入ください。	
フリガナ	
会社名	
部署名	
フリガナ	
お名前	
フリガナ	
ご住所	<div style="text-align: center;"> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>            都道            府県         </div>
TEL	FAX
メールアドレス	
ご購入 代理店名 ・所在地	

技術的なご質問、バージョンアップ等のお問い合わせは  
お気軽に下記へご連絡ください。  
なお弊社ホームページにてユーザー登録を行って  
いただいていない場合には、  
一切のサポートは受けられませんのでご注意ください。

フリーダイヤル：0120-415977

受付時間：月曜日～金曜日（祭日は除く）

10:00～12:00・13:00～17:00

FAX：03-5614-1018

ユーザー登録：<http://www.planex.co.jp/user/user.htm>

ご質問の受付やドライバのアップデートを  
下記Webサイトで行っておりますのでご利用ください。

<http://www.planex.co.jp/>

E-MAIL:[info-planex@planex.co.jp](mailto:info-planex@planex.co.jp)

**プラネックスコミュニケーションズ株式会社**